

都市再生整備計画(第2回変更)

なんば駅周辺地区

大阪府 大阪市

令和3年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	
都市再生整備計画事業	
まちなかウォークアブル推進事業	■

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)～②

都道府県名	大阪府	市町村名	大阪市	地区名	なんば駅周辺地区	面積	40 ha
計画期間	平成30年度～令和4年度	交付期間	平成30年度～令和4年度				

目標

エリアマネジメントによる車中心から人中心への空間再編・観光拠点化の推進

目標1:車中心から人中心の空間再編による歩行環境の改善・魅力ある都市空間の創出

目標2:公民連携によるミナミの地域特性を活かした観光魅力の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、Osaka Metro(御堂筋線、四つ橋線、千日前線)や私鉄各社(南海電気鉄道、近畿日本鉄道、阪神電気鉄道等)が乗り入れるなど、交通アクセスの至便な大阪の南の玄関口にあり、関西国際空港に直結する主要交通拠点である。鉄道事業者によるターミナルの近代化をはじめ、道頓堀川のとんぼりリバーウォークの運営管理、放置自転車対策など、これまで民間が積極的にまちづくりに参加し、大阪を代表する商業・観光エリア「ミナミ」を形成してきており、地区内には、大型商業施設や商店街、百貨店、多種多様な飲食・物販店舗などの商業施設に加え、なんばグランド花月や松竹座、国立文楽劇場、とんぼりリバーウォーク、なんばHatchなどの文化・観光関係施設が点在している。このように培われてきた、都市機能等の集積を大切に、誰もが安全・快適に移動でき、人が集まり交流する、活気、賑わい、ゆとりのある「ミナミ」の形成をめざすことを基本理念とする「大阪市難波地区交通バリアフリー基本構想(平成15年4月策定)」に基づき、移動空間のネットワーク形成や案内・誘導サインの整備等による鉄道駅周辺の道路や駅前広場等の交通結節点としての機能強化に取り組むこととしている。また、都市再生緊急整備地域「大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域(平成14年7月指定)」及び「難波・湊町地域((平成14年7月指定、平成19年2月に区域拡大)」を有し、都市再生特別地区の指定や民間都市再生事業による大規模開発が進展している。さらに、急増するインバウンドの更なる拡大を見据えた関西国際空港とのアクセス改善を図るため、大阪都心部と関西国際空港を直結し、JR新大阪駅及び京阪神圏の各拠点と市から関西国際空港へのアクセスの強化に資する路線としてなにわ筋線の整備が計画されている。また、なんば駅周辺では、地元町会や商店街、周辺企業等で構成される「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会」を中心に、なんば駅前及びなんさん通りの歩行者空間化に向けた取り組みが進められており、現在、なんば駅周辺の道路空間を車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図るため、地元・経済界・行政が一体となって取り組んでいる。

課題

・南海難波駅の北側に位置する駅前空間は、周辺エリアへの主要動線及び複数の交通機関を有する市内有数の重要な交通結節点であるが、車の空間が多くを占め、また車道で分断されているなど車中心の空間となっており、一体性に欠けている。また、関西国際空港から大阪への玄関口に位置しているが、玄関口にふさわしい風格を備えていない。・なんば駅周辺の道路空間は、タクシー滞留、通過交通によるエリア分断、電線等による景観阻害、さらに、狭い歩道・歩行者の増加等による歩行環境の悪化など、魅力的な空間が不足している。・世界をひきつける観光拠点として、ミナミ・大阪・関西の回遊性を高めるためのミナミの地域特性を活かした着地型観光の促進や、安全で安心な観光客受入環境の整備が急がれている。

将来ビジョン(中長期)

①都市再生緊急整備地域「難波・湊町地域(平成14年7月指定、平成19年2月区域拡大)」地域整備方針

ターミナル改修等に合わせた歩行者空間・動線の再整備により、周辺地区との回遊性を確保するとともに、ターミナル及びその周辺地区における景観改善等の協働のまちづくりの取組により、魅力とにぎわいにあふれた都市空間を再生 など

②「大阪市難波地区交通バリアフリー基本構想(平成15年4月)」

「大阪の『顔』にふさわしい都市機能が面的に集積した範囲」、「広域的な集客力を持つ商業・娯楽空間を含む範囲」、「障害者、高齢者、来訪者など誰もが回遊し、『ミナミ』を楽しむ範囲」として、約191haの重点整備地区を設定

③「大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年8月)」

なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図る

④「大阪都市魅力創造戦略2020(平成28年11月)」

※都市魅力創造にかかる観光戦略等の上位概念となる大阪府・大阪市共通の戦略

なんば駅周辺道路空間を関西のインバウンド拠点として上質で居心地の良い空間とするため、車重視の空間から人重視の空間へ再整備

⑤「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画(平成29年3月)」

※官民による合同組織「なんば駅前広場空間利用検討会」において策定した「なんば駅前の広場化」を官民が協働して実現するための指針

なんば駅前空間を一つの拠点として、御堂筋をはじめ魅力ある駅周辺エリアの歩行者回遊性が向上し、大阪やミナミの世界的知名度を確立する

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
イベント開催数	回/年	駅前空間におけるイベント開催数	車中心から人中心の空間再編により、駅前空間におけるイベントの開催数が増加する。	0	H29	12	R3
案内所の利用者数	千人/年	観光案内所の利用者数 (難波観光案内所におけるカウント)	魅力ある都市空間や観光魅力の向上により、観光案内所の利用者数が増加する。	197	H28	217	R3

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
目標1：車中心から人中心の空間再編による歩行環境の改善・魅力ある都市空間の創出 ・駅前空間を車中心の空間から人中心の空間へと再編し、周辺エリアへの主要動線や複数の交通機関間の交通結節点機能を強化するとともに、大阪の南の玄関口にふさわしい風格を備えた上質な居心地の良い空間を創出する。 ・なんば駅周辺の道路空間を車中心の空間から人中心の空間へと再編し、歩行環境を改善するとともに魅力ある都市空間を創出する。	【基幹事業】 ■道路(改築、電線共同溝) ■地域生活基盤施設(広場、情報板) ■高質空間形成施設(緑化施設等、歩行支援施設・障害者誘導施設等) ■滞在環境整備事業(交通安全性の検証) ○御堂筋チャレンジ2021(仮称) ○官民連携まちづくり
目標2：公民連携によるミナミの地域特性を活かした観光魅力の向上 ・世界をひきつける観光拠点化に向け、駅前や周辺道路空間の再編による安全で安心な観光客受入環境整備及び回遊性向上にあわせ、地元組織等のエリアマネジメント活動によるミナミの地域特性を活かした着地型観光を促進する。	【基幹事業】 ■道路(改築、電線共同溝) ■地域生活基盤施設(広場、情報板) ■滞在環境整備事業(交通安全性の検証) ○御堂筋チャレンジ2021(仮称) ○官民連携まちづくり

その他

■地区周辺の取組等 【道頓堀川水辺空間利用】 ・道頓堀川は、大阪の繁華街「ミナミ」の中心を東西に流れる、広く人々に親しまれている大阪を代表する一級河川 ・都心部に残された貴重な水辺空間を最大限活かすよう、道頓堀川水辺整備事業を実施し、湊町～日本橋間の全長約1.0kmにおいて親水性の高い遊歩道(愛称名：とんぼりリバーウォーク)を整備し、平成25 年3月に完成 ・平成16年3月の国土交通省による河川敷地占用許可準則の特例措置を受けて、平成17 年度より賑わい創出に向けた社会実験を実施 ・平成23年3月に河川敷地占用許可準則の改正を受け、民間活力の導入によるさらなる利用促進を図ることを目的に、とんぼりリバーウォークの管理運営事業者を公募し、平成24 年度より民間事業者による管理運営を実施 ・地域住民の合意形成・公平性の確保を図るため、地元代表者・学識経験者から構成される「道頓堀川水辺空間利用検討会」を設置し、河川敷地の利用調整・利用ルールづくりを実施 【御堂筋の道路空間再編】 ・御堂筋は、国道25号と国道176号から構成される幅員約44mの大阪のメインストリートで、阪急前から難波駅前までの区間(約4.2km) ・平成24年4月から、指定区間外の国道として大阪市が再び管理することとなり、大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かす取り組みを実施 ・昭和12年に完成した御堂筋は、平成29年5月11日で完成80 周年 ・平成29年度の御堂筋完成80周年記念事業において、シンポジウム、ワークショップ等を開催し、幅広く市民意見を聴取し、御堂筋の将来ビジョンを策定予定 ・今後、将来ビジョンの実現に向けた道路空間再編に取り組む 【観光客の受入環境整備事業・観光バス乗降場の利便性向上事業】 ・外国人等観光客の急増に伴い、市内特にミナミエリアに観光バスの利用が集中 ・ミナミエリアからアクセスのよい場所における観光バス駐車場の整備や日本橋観光バス乗降スペース付近への観光案内表示の設置により、外国人等観光客の受入環境を整備 ・日本橋観光バス乗降スペースに誘導員を配置し、観光バス及び観光客の適切な誘導を行うことで安全を確保し、さらに多くの観光客を受け入れ 【観光案内機能の強化】 ・地元組織等のエリアマネジメント活動による、ミナミの地域特性を活かした観光案内機能の強化検討など 【なんば駅周辺道路空間の再編に向けた取組経過】 平成23年06月 「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会(以下、「地元協議会」という。)」始動 平成27年04月 地元協議会から大阪市に要請書提出 平成27年12月 「なんば駅前広場空間利用検討会(有識者、地域団体、大阪市、大阪府、大阪商工会議所)」始動 平成28年03月 「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画中間とりまとめ(なんば駅前広場空間利用検討会)」策定 平成28年11月 「なんば駅周辺道路空間再編社会実験(実行委員会：地元協議会、大阪商工会議所、大阪府、大阪市)」実施 平成29年03月 「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画(なんば駅前広場空間利用検討会)」策定

様式(1)-④-3

(金額の単位は百万円)

...A

0 ... B

4